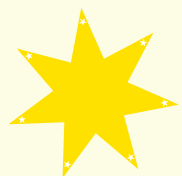


Design: Katsumi ASABA / ©The Tsubonchi Memorial Theatre Museum, Waseda University



青山星灯籠

Aoyama Lanterns



青山星灯籠
Aoyama Lanterns

令和元年7月28日(日)・29日(月) 午後5時-9時 (小雨決行・荒天中止)

青山善光寺参道 (港区北青山3-5-17) 入場無料

当日は善光寺境内で納涼盆踊り大会が開催されています。

主催 青山星灯籠実行委員会(アイウエオ順)
 浅葉克己(アートディレクター)/有賀長人/市川博一(ICHYS GALLERY)/後藤 徹(SIG)
 遠山 秀子(山陽堂書店)/水野成美(市街地開発)/和多利浩一(ワタリウム美術館)

協力 青山商店会連合会/青山まちづくり協議会

連絡先 青山星灯籠実行委員会 hoshitourou@gmail.com

ASABA
 2019.7.20.

青山星灯籠ふたたび

夏の夕方、家々から長い竿が天高く伸び、その先に様々な灯籠が灯され星のように輝いています。
その灯火を流れ星に見立て、祖霊の帰来を偲びました。
この青山の地でふたたび「星灯籠」を甦らせ、逝きし人を偲び、土地の記憶を訪ね、地域の環境と文化を体験することで青山らしい暮らしとは何かを見つめ直すきっかけになればと考えています。
青山善光寺参道では、亡き方へ、伝えたい言葉を短冊に書いて笹に飾っていただけると、星灯籠展示の二日間、笹と短冊を用意しています。

青山星灯籠甦生プログラム

江戸時代から明治時代初期頃まで、青山・百人町周辺で行われていた「星灯籠」は、旧暦7月の1カ月間、竹竿の先に提灯をつけて高く掲げるお盆の行事でした。
夜にはまるでたくさんの星が出ているように見えたところから「星灯籠」と呼ばれ、二代歌川広重の浮世絵にも描かれました。この行事を甦らせることで、青山の歴史を遡り、かつてここにあった環境と暮らしを再発見したいと考えています。これからの街と人の暮らしについて考えるための新しい取り組みです。

青山星灯籠これからの展開

青山の街全体に星灯籠が掲げられるように地域の取り組みとして定着し、「青山の風物詩」として時代を超えて親しまれる『青山星灯籠』を育てていきたいと願っています。この催しはCAMPFIRE(キャンプファイヤー)のクラウドファンディングでもご支援をいただいています。今後とも、皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

サイトからもこの活動にご支援、ご協力いただけます。
<https://camp-fire.jp/>

令和元年7月28日(日)・29日(月)

午後5時-9時(小雨決行・荒天中止)

当日は善光寺境内で納涼盆踊り大会が開催されています。

会場 青山善光寺参道

(東京都港区北青山3-5-17) 入場無料

連絡先 青山星灯籠実行委員会 hoshitourou@gmail.com

返礼品一例

青山星灯籠ポストカード3枚1組 50組

青山星灯籠を巡る歴史まちめぐり参加権 20名

あなたの星灯籠を掲げます 20名

他にも青山ならではの返礼品を揃えています。

上のURLから青山星灯籠をチェック！



「東京都青山地図」個人蔵

青山通りは、その昔大山道と呼ばれていました。今も残る寺社など、古地図を参考に会場までお越しください。